

須恵道場
道場生と師範が大活躍

日本空手協会橋口忍杯空手道選手権大会が、9月3日に春日市で行われました。

この大会に、日本空手協会須恵道場の道場生が出場して、小学2年生形の部で田邊優希さんが優勝、宮崎開都さんが準優勝しました。田邊さんは、同年組手の部でも準優勝の好成績をおさめました。このほか、高校・一般組手の部で田邊裕嗣さんが準優勝しました。

一方、同道場の古賀慶三師範は、9月17日(日)に久留米市で行われた日本空手協会九州地区シニア大会に出場して、55歳～59歳形の部で優勝、組手の部で準優勝し、道場生と師範ともに大活躍しました。



巨大キノコを発見!

台風13号が過ぎ去った9月21日(木)に、介護老人保健施設若杉の里の南西側の山で巨大なキノコが発見されました。

これを見つけたのは、同施設職員の中野吉成さん。キノコは、テングタケ科のシロオニタケモドキと見られ、直径が約20cmあります。中野さんが、台風の通過後に同施設を巡回していて見つけたものです。

中野さんは「この山では、小さいキノコはこれまでもたくさん見たことはありましたが、こんなに大きいものは初めてです。職員も施設に入所している人も、みんなこれを見た時はビックリしました」と話されていました。



剣友会 大活躍!!

第26回田川少年玉竜旗剣道大会(川崎町剣友会主催)が、9月17日(日)に田川市立総合体育館で行われました。

この大会に、須恵剣友会が出場して小学生低学年の部でAチームが優勝、Bチームが3位、同高学年の部で準優勝の好成績をおさめました。また、勝ち抜き方式で行われたこの大会で、小林祐輝くんが10人抜きを、黒川大樹くんが5人抜きを2回、それぞれ果たして表彰されました。

大会は、福岡県や大分県、山口県などから小中学生約750人が参加して行われました。



第25回子ども会かるた大会

第25回子ども会かるた大会(子ども会育成会連絡協議会主催)が、10月15日(日)にあおば会館で行われました。

ゴザが敷かれた会場では、正座した子どもたちが身を乗り出しながら、上の句を読み上げる吟者の声の後に、次々と札をたたき音が響きわたっていました。

大会は、小学生の部に41チーム、中学生の部に9チームが参加しました。

大会結果は次のとおりです(各コート2位まで、○は順位)。

●小学生の部

- ・Aコート ①藤 浦A ②乙植木C
- ・Bコート ①昭 穂B ②一番田A



- ・Cコート ①城 山C ②甲植木F
- 中学生の部 ①乙植木A ②城 山 ③乙植木B
- ベストマナー賞 上須恵

交通指導員が
安全運転の啓発活動

須恵町交通指導員(辻賢一会長)が、9月23日(土)に交通安全街頭啓発活動を行いました。

これは、秋の交通安全県民運動が同月21日(木)から30日(土)まで実施されたことに伴うものです。啓発活動は、役場近くの交差点2か所で行われ、信号待ちで停車中の車を対象にチラシなどを配布して、安全運転と交通事故防止を呼びかけました。

辻会長は、活動前の指導員に対して「今回の運動の基本は、高齢者の交通事故防止となっていますので、これを重点に啓発をお願いします。」とあいさつを行いました。



けやき会が
須恵川の生態調査を実施

須恵川の水と緑を守るために環境整備活動を続けている、けやき会(高橋重義会長)が10月1日(日)に、須恵川の魚種生態調査を行いました。

調査は、須恵川の熊本橋から仲島水辺公園までの約1.4キロを同会員5人が手づくりの三角網を使って行いました。その結果、コイやタカハヤ、ドンコなど14種類の魚やエビなどの生息を確認しました。

高橋会長は「須恵川は、一時期川の汚れがひどく悪臭のする時期がありました。須恵中央駅の案内板には魚の紹介がありますが、紹介どおりの魚類が生息している



のかと懸念していました。最近は川の水も大変きれいになっています。これは、地域の方々や日ごろボランティア活動をされている団体のみなさんの努力の成果だと思います。生物にとって一番大切な水と自然の共生がいつまでも持続できればと思っています」と話されていました。